

教科シラバス(2年地理歴史科)

教科名	地理 歴史	科目名	世界史 B	学年	2年(文系一般・習熟)	単位数	2
教科書と副教材			詳説 世界史B、歴史風景館 世界史のミュージアム、ゼミナール世界史				
1. 科目目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、資料集、ノート(科目毎に替えてください)、問題集(但し問題集は家庭学習用です。)</p> <p>(2) 予習の仕方について:前もって、次回授業の教科書 2 頁程度を読んでおきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について&lt;授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。&gt;                      ア 先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。                      イ ノートは板書事項を写すだけではなくて、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。                      ウ 学習内容について、常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で受けましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について                      &lt;家庭では、まわりの多くのことに目を向けましょう。&gt;                      ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみましょう。あわせて、ノートを見直すことが大切です。                      イ 問題集を用いて授業の復習をしましょう。授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましょう。その際、インターネットなどを利用することは効果的です。                      ウ 新聞・雑誌・TVのニュース等に関心を持ちましょう。そして、ニュース内容について自分なりの意見を持つようにしましょう。                      エ 読書をしましょう。いろんなジャンルの本を読むことで新たな興味・関心がわいてくるかもしれません。</p> <p>(5) 質問の仕方について                      分からないことは遠慮なく担当の先生に尋ねましょう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査・提出された課題・授業内小テストの成績、学習態度等によって総合的に行います。						
4. 学習サポート	<p>(1) 定期的に行われる小テストはとても大切です。その成績自体も評価の対象となりますし、定期考査に向けた学習にもなります。満点目指して取り組みましょう。</p> <p>(2) 世界史Bは文字通り世界中の地域・国々について学習する科目ですから、毎日の新聞やテレビなどで、世界各地で起こっている事件やニュースに関心を持つことは、授業内容をより深く理解するためにとても大切です。また、歴史を取り扱ったテレビ番組や小説に親しむことは、歴史への興味をより高めてくれます。</p> <p>(3) 定期考査の内容は、教科書(世界史B)・問題集・授業ノートの中から出されることがほとんどです。毎日の授業が一番大切です。</p>						